
「初級 Java～やさしい Java～」 利用マニュアル

本利用マニュアルは「初級 Java～やさしい Java」で利用している学習環境の構築方法とダウンロードライブラリの利用方法についてまとめたものです。

学習環境の構築(Eclipse のインストール)

「初級 Java～やさしい Java～」では学習環境に総合開発環境である Eclipse を利用しています。Eclipse はオープンソースの学習環境で無償利用することができますが、そのまま日本語の環境で利用できません。そこで本書では Pleiades と呼ばれる Eclipse 日本語化プラグインを利用します。Pleiades を利用することで、はじめから日本語化された状態で学習をスタートすることができます。

Pleiades をダウンロードするには、下記 URL にアクセスするか、検索エンジンで「Pleiades」と入力し検索します。

--Pleiades ダウンロード URL--

<http://mergedoc.sourceforge.jp/>

すると、図 1 のような Pleiades - Eclipse プラグイン日本語化プラグインのページが表示されます。このページから提供されているいくつかのバージョンの Eclipse をダウンロードすることができます。

本書は Java の入門書であり、どの Eclipse のバージョンでも動作しますが、安全に配慮して一番利用率の高いパッケージをダウンロードします。ここでは「Eclipse 3.7 Indigo Pleiades All in One」をクリックします(バージョンについては、2012 年 8 月現在)。

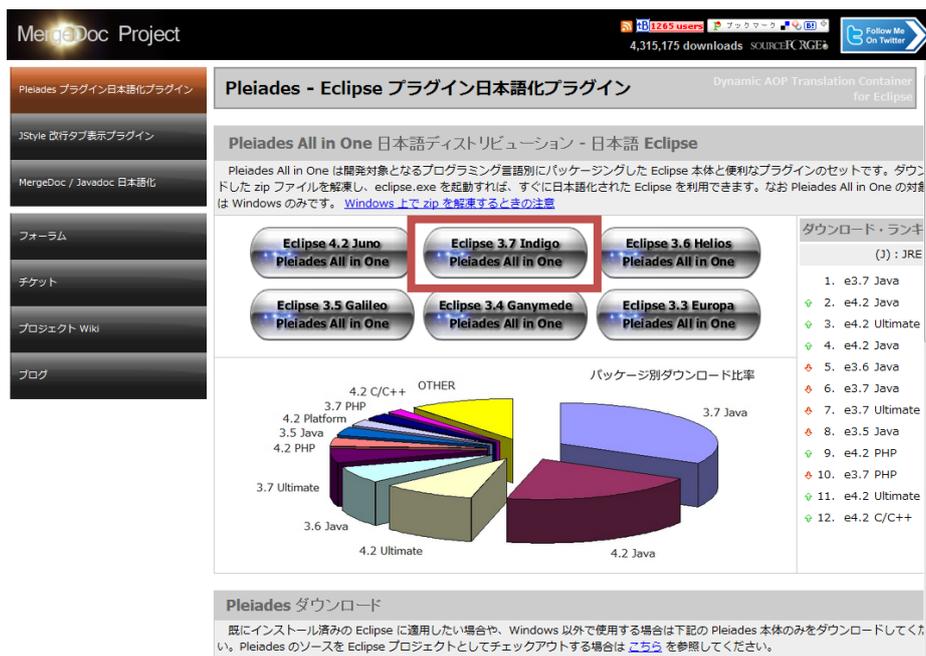


図 1 トップ画面

すると、図 2 のような画面になります。

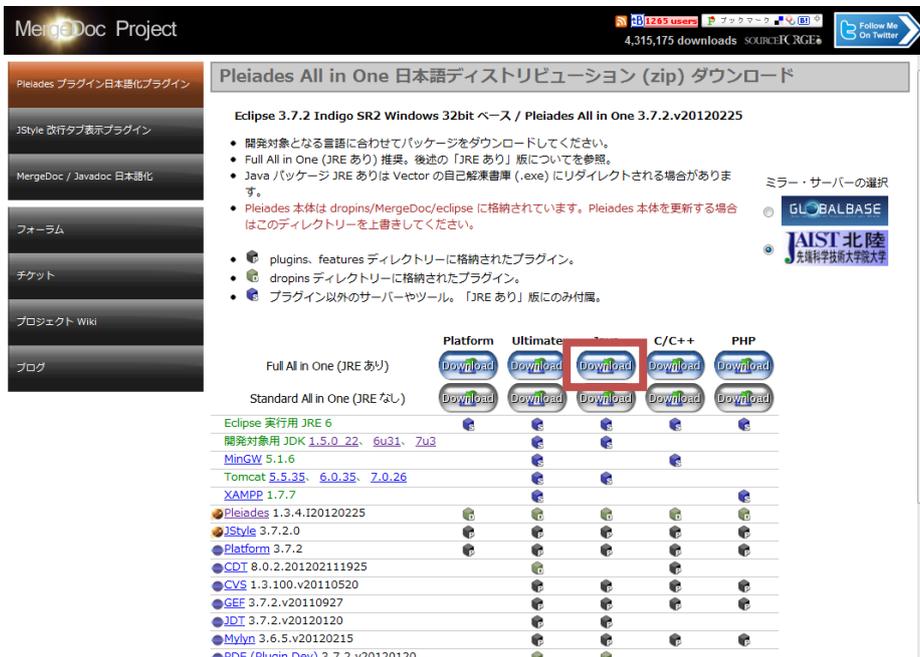


図 2 ダウンロードページ

Pleiades は用途別に次のようなパッケージにわかれています。

1. Platform 基本だけの構成のパッケージ
2. Ultimate 全部入りパッケージ
3. Java Java 開発用のパッケージ
4. C/C++ C/C++開発用のパッケージ
5. PHP PHP 開発用のパッケージ

各パッケージは「JRE あり」と「JRE なし」に分かれています。JRE とは Java の実行環境のことで、「JRE あり」を選択することでプログラミングから実行までを Eclipse で行うことができます。Java (JRE あり)の「Download」をクリックします。

Internet Explorer からアクセスした場合、図 3 のようなダウンロード画面が表示されるので、「保存」を選択し、ファイルを任意の場所に保存します。580MB ほどの容量があります。インターネット回線が細い場合、ダウンロードに数十分かかります。

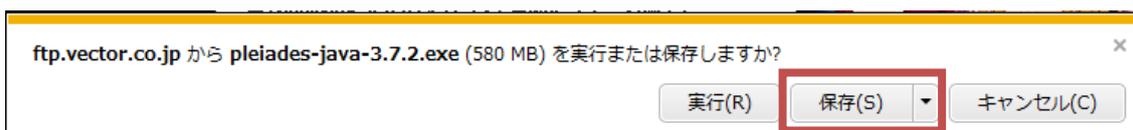


図 3 ダウンロードダイアログ

ダウンロードした「pleiades-java-3.7.2.exe」をダブルクリックします。

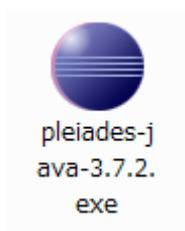


図 4 ダウンロードファイル

次のようにセキュリティの警告が表示される場合があります。「実行」ボタンをクリックします。



図 5 セキュリティの警告

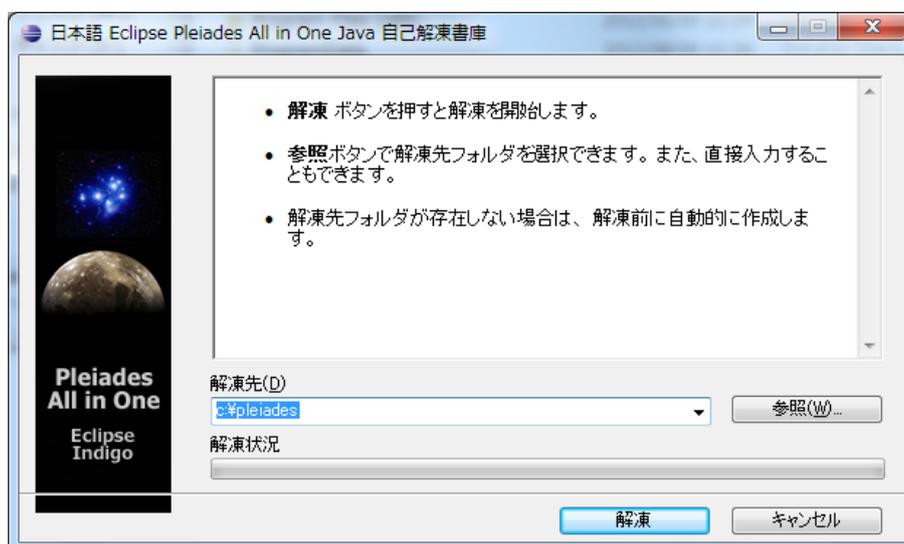


図 6 解凍先の確認ダイアログ

ファイルをどこに解凍するかについて確認ダイアログが表示されます。通常は C ドライブの直下の pleiades フォルダに解凍されます。セキュリティや権限の問題でこのフォルダに解凍できない場合は、「参照」ボタンをクリックし、保存先を変更します。次に「解凍」ボタンをクリックし、解凍を開始します。

解凍が終了したら、C:%pleiades フォルダを開くと、次のような構成でフォルダが表示されます。

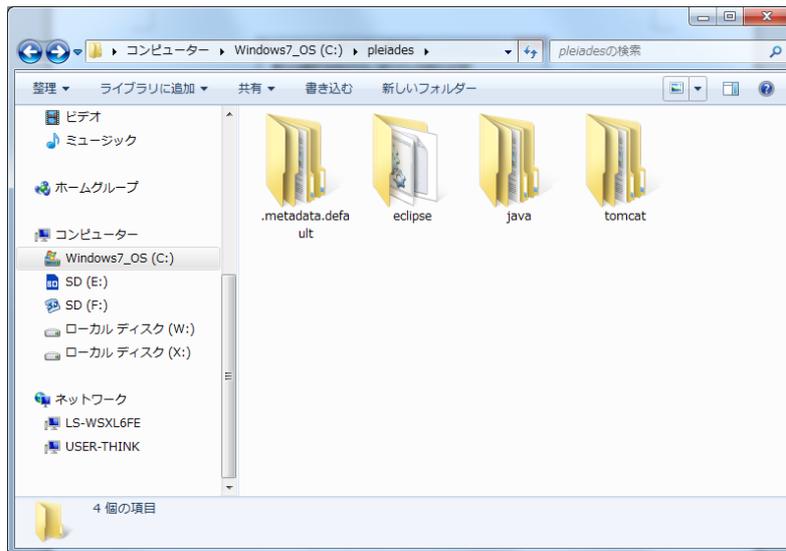


図 7

この中の eclipse フォルダを開き、eclipse.exe のショートカットをデスクトップなどわかりやすいところに作成します。

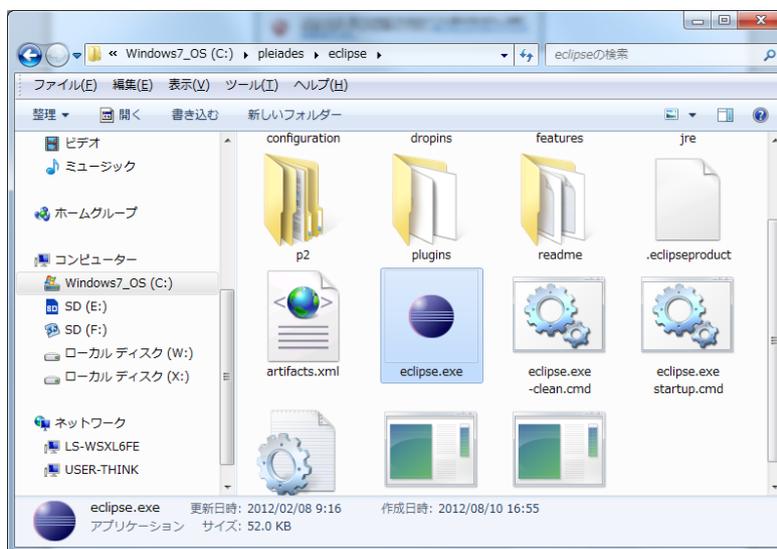


図 8



図 9

eclipse.exe のショートカットをダブルクリックすることにより、学習環境である Eclipse を起動することができます。

なお、Eclipse をはじめて起動すると、ワークスペースランチャーが立ち上がり、「ワークスペースの選択」をします。ここでは、最初から選択されている「../workspace」のまま「OK」をクリックしてください。

ダウンロードライブラリの入手方法

次にダウンロードライブラリの利用方法について解説します。本書のプログラムはすべてダウンロードライブラリを利用することにより再現することができます。ダウンロードライブラリを取得するには、下記の URL にアクセスし、「初級 Java」と検索してください。

<http://www.jikkyo.co.jp/download/>

表示されたページの「ダウンロード」ボタンをクリックし、ファイルを保存します。

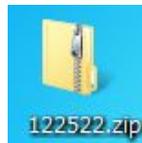


図 10

ダウンロードライブラリは zip という形式で圧縮されたファイルになっているためそのままと利用できません。ダウンロードしたファイルをダブルクリック、もしくはエクスプローラーから開くと次のように表示されます。

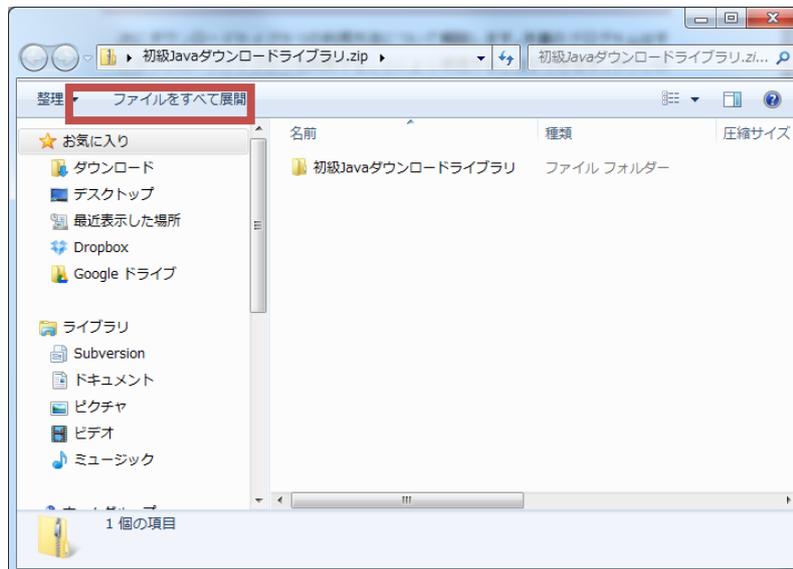


図 11

次に「ファイルをすべて展開」をクリックします。すると次のようなダイアログボックスが表示されるので、「展開」ボタンをクリックします。

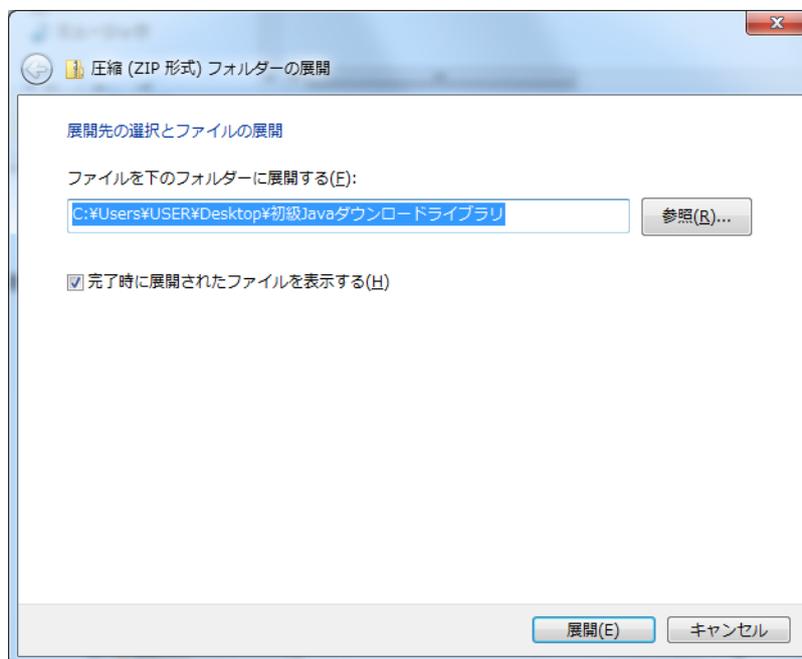


図 12

展開が終了すると次のように表示されます。

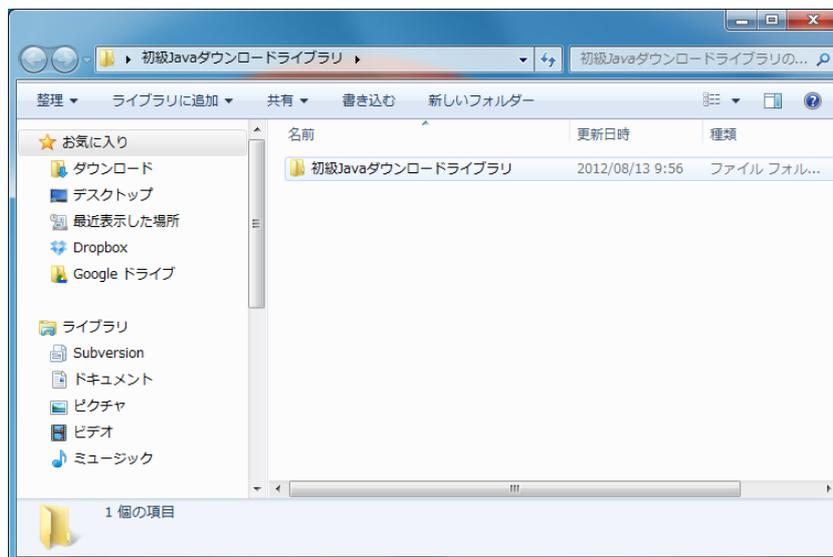


図 13

表示されたダウンロードライブラリを任意の場所に移動します。

ダウンロードライブラリの利用方法

本書に従ってプログラムを書く際は、ダウンロードライブラリを利用します。まず、Eclipse を起動し、Java プロジェクトを作成します。Eclipse の利用方法や Java プロジェクトの作成方法については本書を参考してください。ここでは「初級 Java」という名前で Java プロジェクトを作成します。

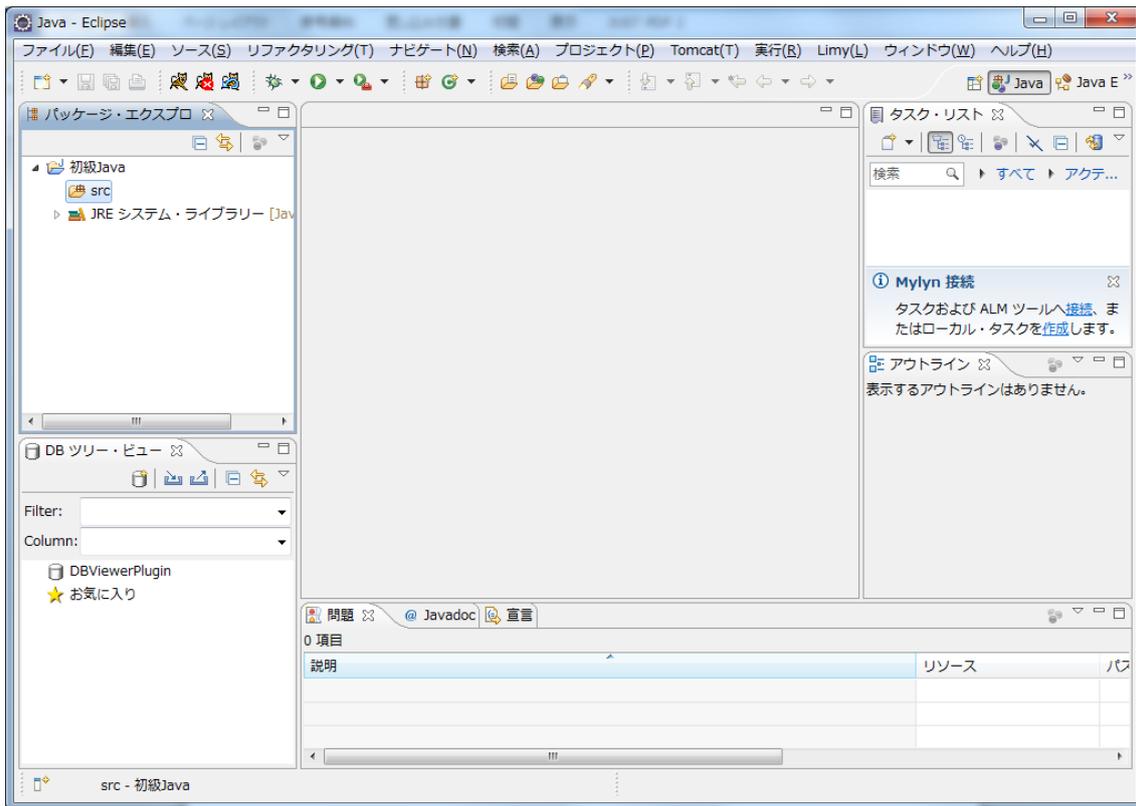


図 14

次に、ダウンロードライブラリの中にある、MyFrame.java をコピーし、「初級 Java」の src フォルダ内のデフォルトパッケージの中に貼り付けます。

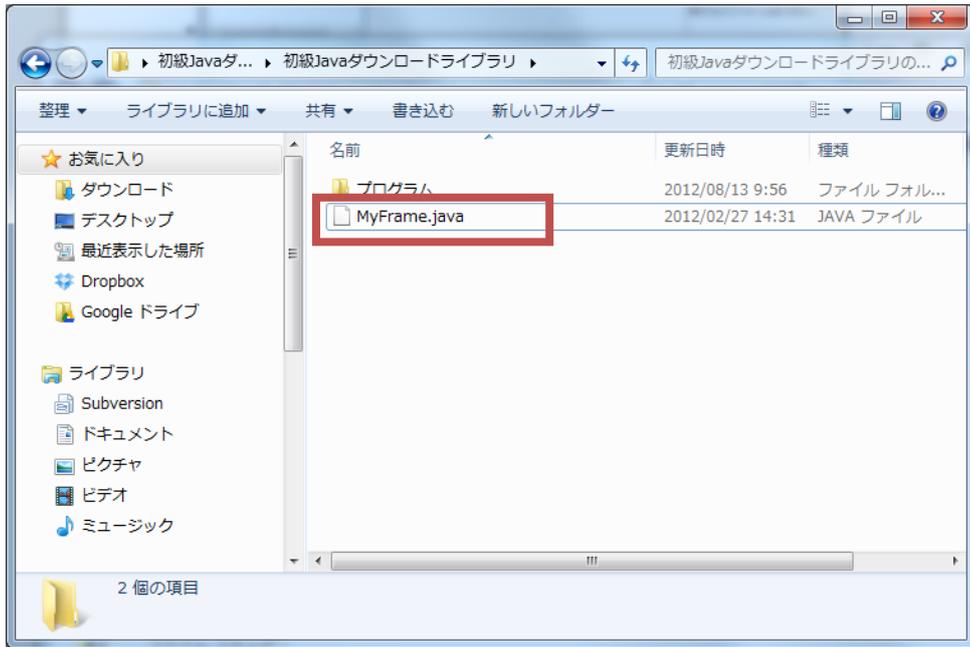


図 15

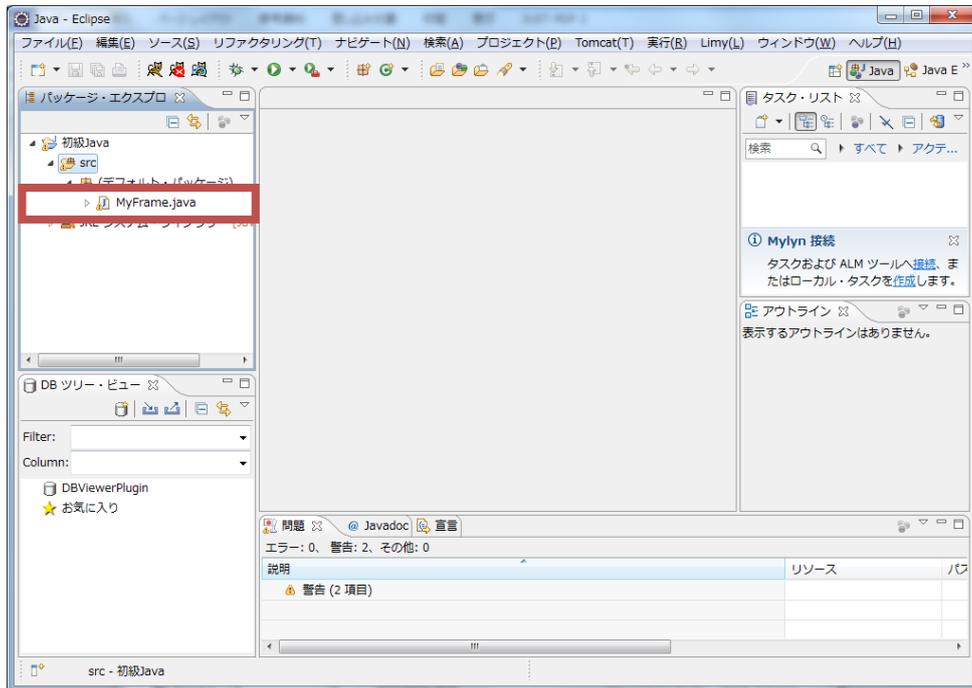


図 16

以上で、ダウンロードライブラリの配置は終了となります。これで本書にしたがって学習できます。

プロジェクトのインポート

本書で利用しているプログラムは各章ごとにプロジェクト形式でダウンロードライブラリに収録されています。ここではプロジェクトのインポートについて解説します。

Eclipse のファイルメニューから「インポート」を選択します。するとインポートのダイアログボックスが表示されます。

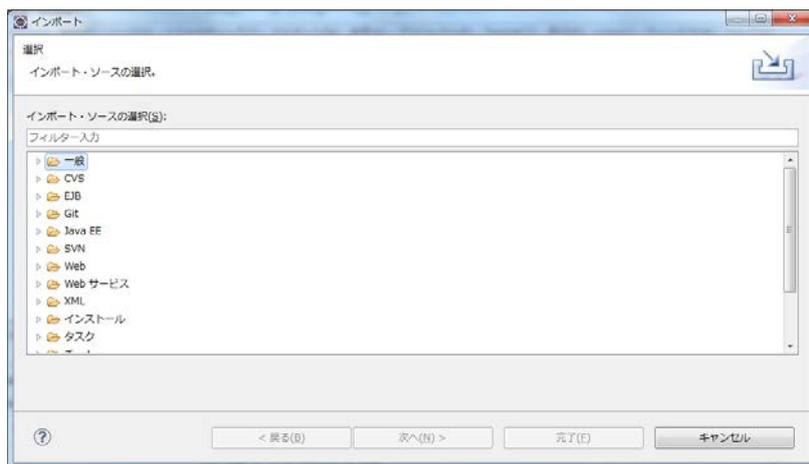


図 17

「一般」を展開し、「既存プロジェクトをワークスペースへ」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

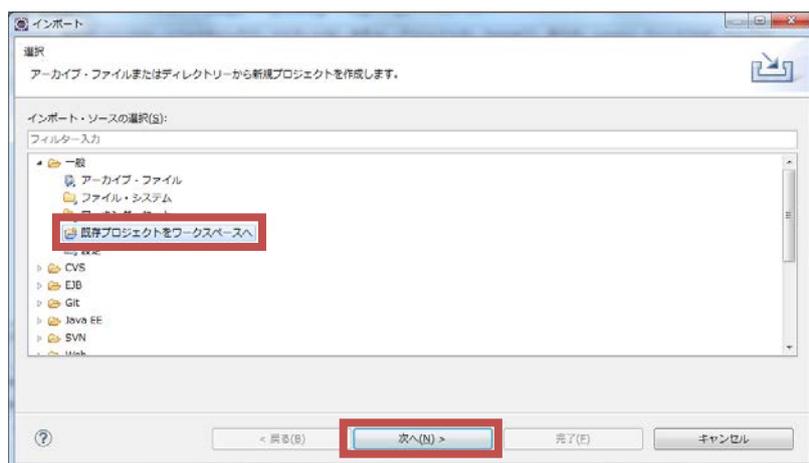


図 18

次のダイアログボックスに表示される、「ルート・ディレクトリの選択」の「参照(R)...」ボタンをクリックします。

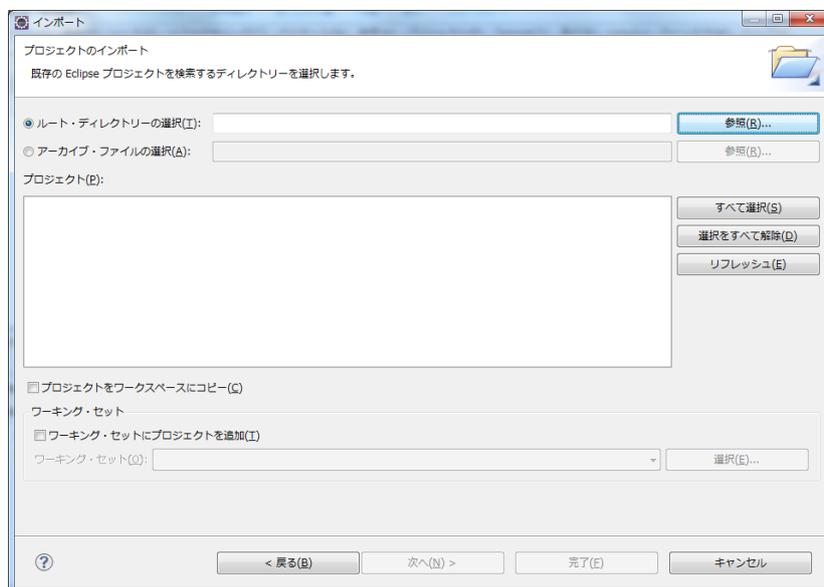


図 19

フォルダーの参照ダイアログボックスが表示されるので、「初級 Java ダウンロードライブラリ」内の「プログラム」を選択し、「OK」をクリックします。

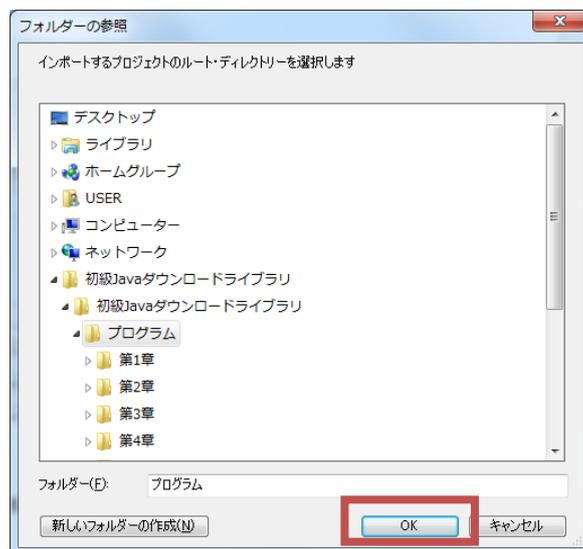


図 20

すると次のようにプロジェクトが表示されます。「プロジェクトをワークスペースにコピー」にチェックを入れ「完了」をクリックします。

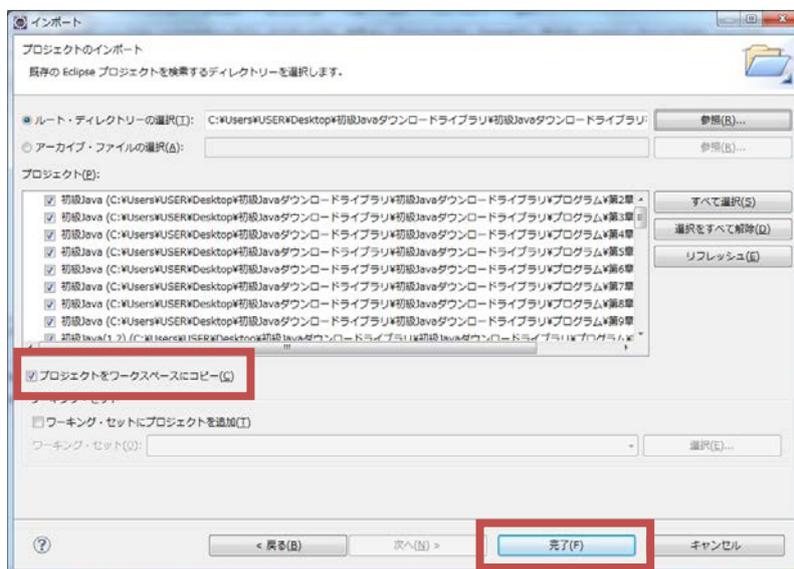


図 21

無事に動作が完了すると、次のようにプロジェクトをすべて Eclipse にインポートできます。

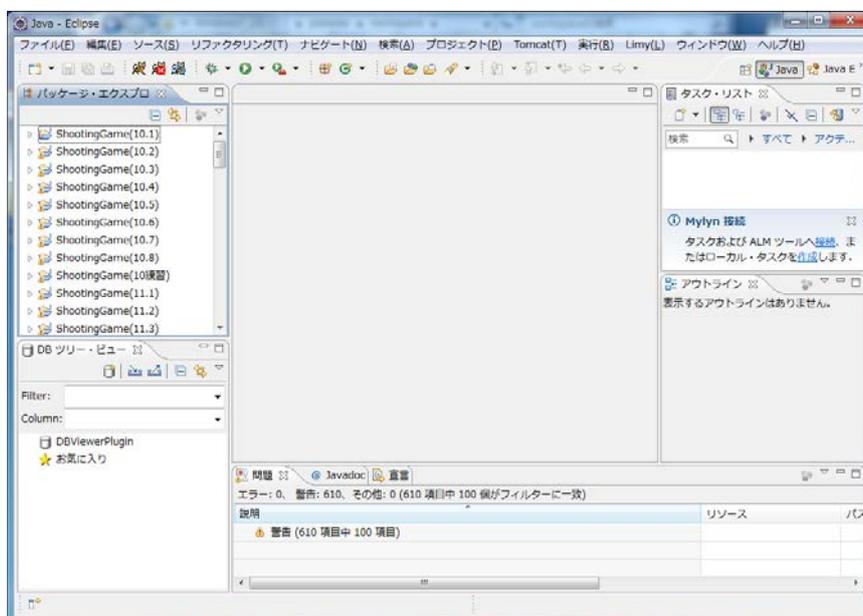


図 22

プロジェクトをインポートした後は、本書の記述に基づき、プログラムの実行が可能になります。